



つながぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和5年5月16日

第16号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

小中一貫教育元年！15歳の春の姿を共有して ～子どもたちの学びをさらに豊かなものにしていくために～

江別第二小学校と江別第二中学校は、平成29年度から令和3年度にかけて小中一貫教育の第1期指定モデル校区として実践を積み上げ、令和4年度から施設隣接型の小中一貫型小学校・中学校としてスタートしました。また、第2期指定となる他の7つの中学校区においても、令和4年度までに様々な取組を試行し、本年4月から施設分離型の小中一貫型小学校・中学校として実践を進めております。これにより、市内全域で小中一貫教育が本格的に導入されたこととなります。

江別市の小・中学校では、これまでも充実した学校経営や教育活動が営まれ、子どもたちは落ち着いた雰囲気の中で、学力面や体力面をはじめとして様々な分野・領域で力を発揮し、健やかに成長しています。

一方で、子どもたちや学校を取り巻く環境は複雑化・多様化し、学校単独では解決できない課題も見られるようになってきており、これらに対して学校間で連携して対応していくことが必要な時代となってきています。

このような状況を踏まえ、これまでの学校教育の成果を生かしつつ、教育活動をより一層充実させ、子どもたちの学びをさらに豊かなものにしていくための重要な教育施策の一つとして小中一貫教育を推進していきます。

保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「共感」の輪を広げて小中一貫教育を進めるために

～江別市学校教育推進研修会と 江別市PTA連合会総会での説明～

4月14日（金）に、今年度転入された校長先生や教頭先生を対象とした江別市学校教育推進研修会が開催され、その中で小中一貫教育に関する研修も行われました。

「目指す子ども像」や小中一貫教育の3本柱となる「系統的な指導」「一貫した指導」「相乗的・補完的な指導」の具体的な内容、昨年度までの各中学校区の実践等についての説明が行われ、各学校の管理職の先生方に研修を深めていただきました。



説明をする学校教育課職員



挨拶をする黒川淳司教育長

また、4月21日（金）には、江別市PTA連合会の総会に学校教育課の職員が出席し、小中一貫教育についての説明を行いました。江別市の小中一貫教育は、教職員や保護者・地域の皆様の「共感」の輪を広げながら、子どもたちのためにみんなで創り上げていくことを目指しています。PTAの皆様には、中学校区の取組にご理解をいただき、学習や生活のスタンダード、校外生活のきまりの指導、家庭学習や携帯電話・SNSの利用の仕方の指導、合同のPTA活動の推進等でご協力を賜りますようお願いいたします。

尚、6月1日（木）には、自治会連絡協議会理事会に学校教育課職員が出席し、各自治会の皆様へ小中一貫教育推進へのご協力をお願いする予定です。

